

NVR用

操作手順書⑦

システム(操作_システム管理項目)設定
(1.00版)

2026 年 09 月 15 日



WDJ Hi-Tech Inc.

株式会社 WDJ ハイテク

(1.00 版)

Copyright © 2026 WDJ Hi-Tech Inc. All Rights Reserved.

文書番号:WDJ-Tec-MAN-055

— 変更履歴 —

版数	変更日	区分	変更箇所		変更内容
			頁	項番	
1.00	2026/09/15	新規			新規作成

— 目次 —

1. 本書に関して	3
1.1. 本書について	3
2. 画面操作の基本	4
2.1. マウス操作	4
2.2. ソフトウェアキーボード操作	4
3. システム設定	5
3.1. 基本設定	5
3.2. 時間設定	8
4. メンテナンス	10
4.1. メンテナンス	11
4.2. 設定バックアップ	12
4.3. USB メモリーのフォーマット	15
5. Firmware アップグレード	17
6. 工場初期出荷設定	20
6.1. レコーダーにログインして初期化	20
6.2. レコーダーのパスワードを忘れた場合	22

1. 本書に関して

1.1. 本書について

- ・ 本書は WG-NVR162-S（以下、レコーダー）を、簡単に設定して頂くための手順です。
- ・ 本書は、『基本設定』、『システムメンテナンス』、『設定バックアップ』、『アップグレード』に関して簡単に説明します。

1.1.1. USB メモリーの動作確認

使用する USB メモリーをレコーダーに挿入し、USB デバイス画面が表示することを確認して下さい。



※ USB メモリーの使用前に

使用する USB メモリー内にデータが保存されている場合は、USB メモリー内に保存しているデータを PC などにバックアップしてからご使用下さい。

＜USB デバイス画面が表示されない場合＞

※USB メモリーの容量が大きいと、表示までに時間がかかる場合があります。

- ① USB メモリーを抜き挿しして下さい。
- ② 他の使用していない前面/背面の USB ポートに挿入して下さい。
- ③ 他の USB メモリーを挿入して下さい。

上記の確認でも画面が表示しない場合は、購入先にお問い合わせ下さい。

2. 画面操作の基本

本レコーダーは、キーボードを使用せずに、マウスだけで操作を行います。
キーボード操作が必要な場合には ソフトウェアキーボードを使用します。
本章ではマウスの基本操作とソフトウェアキーボードの使用方法に関して簡単に説明します。

2.1. マウス操作

- ・ 基本の操作は下記の通りです。

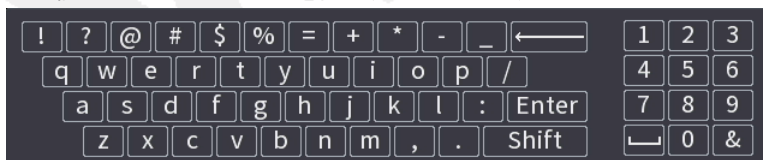
左クリック	選択、決定
右クリック	キャンセル

2.2. ソフトウェアキーボード操作

- 1) パスワードなど文字入力が必要な場合



入力欄にマウスポインターを置き、左クリックするとソフトウェアキーボードが表示されます。



 は“スペース”、 は、“1 文字消去” です。

『Shift』をクリックすると、大文字入力用に変更できます。



- 2) マウスで文字及び数字を左クリックし文字列を入力し、最後に 『Enter』 をクリックし、入力を確定させます。

- 3) 時間や年など数字のみの入力が必要な場合は



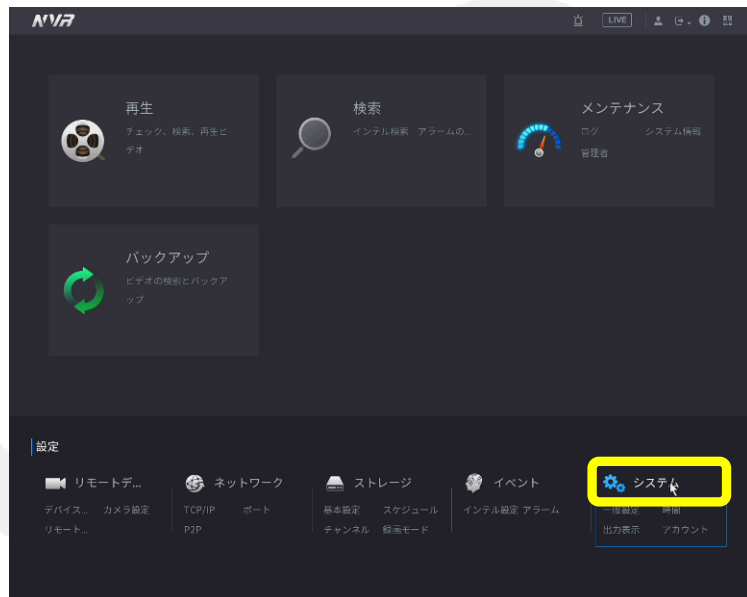
入力欄にマウスポインターを置くと
テンキーだけのソフトウェアキーボードが表示されます。



- 4) テンキーソフトウェアキーボードは Enter キーがないので
入力終了後、入力欄にマウスポインターを置き、左クリックで入力を確定させます。

3. システム設定

本章ではシステムの『一般設定』（「基本設定」 / 「日付時刻」）の設定について記載します。
メインメニューの『システム』をクリックし、システムの設定画面を表示させます。



3.1. 基本設定

ここでは、マウスの感度設定と画面非表示設定について簡単に説明します。
『一般設定』（①）をクリックし、表示したリストの『基本設定』（②）をクリックして下さい。

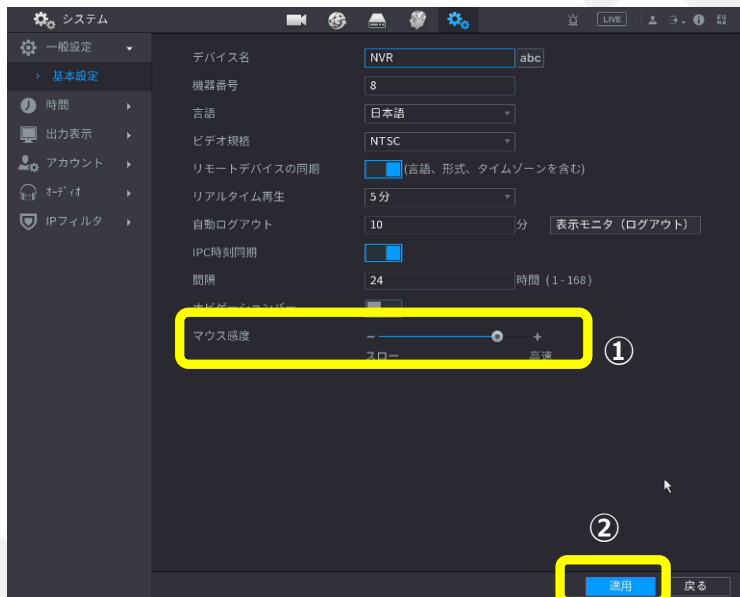


※システムのアイコンの内にある『一般設定』をクリックすると、一般設定画面を表示することも可能です。



3.1.1. マウス感度設定

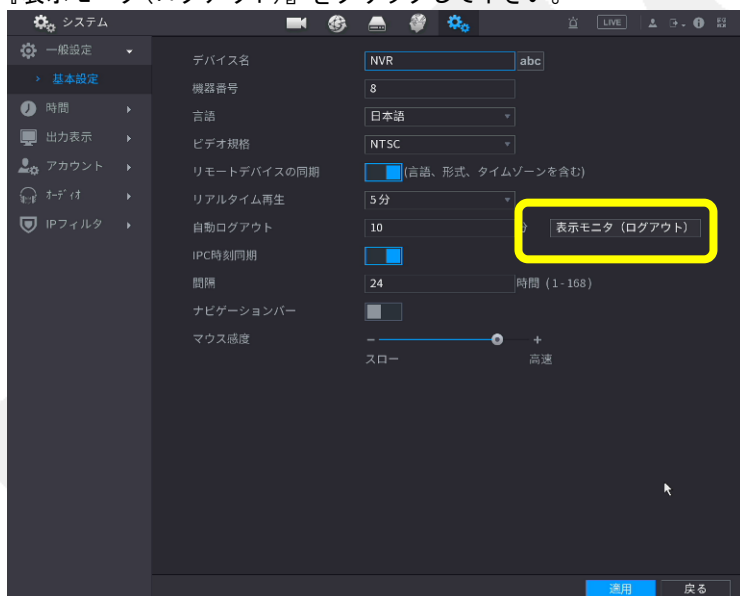
ダブルクリックと認識するクリックの間隔を設定します。スライダー（①）をドラッグして感度を設定し、『適用』（②）をクリックして下さい。



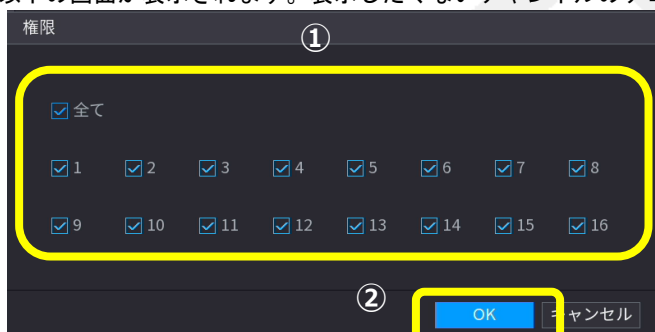
3.1.2. 画面非表示設定

ログアウトの状態に表示するライブ映像の表示チャンネルを設定します。

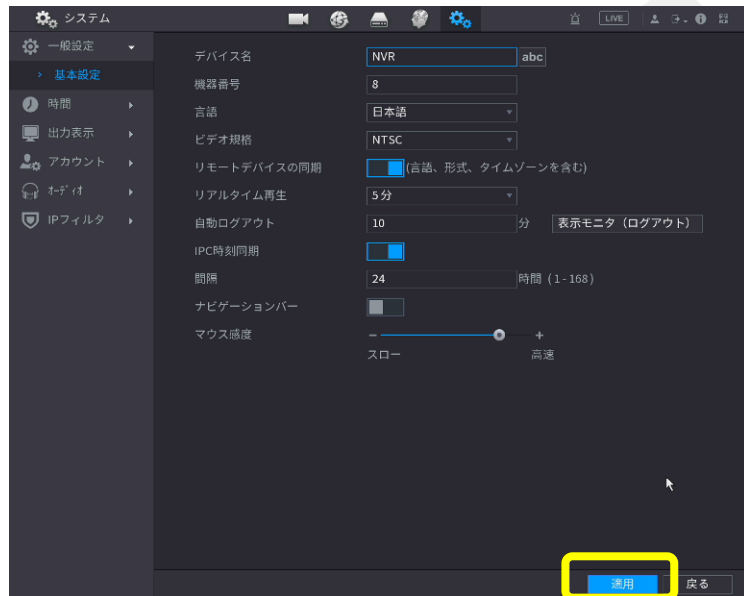
- 1) 『表示モニタ (ログアウト)』をクリックして下さい。



- 2) 以下の画面が表示されます。表示したくないチャンネルのチェックを外し（①）、『OK』（②）をクリックして下さい。



3) 設定が終了したら、『適用』をクリックして下さい。



※ログオフすると、チェックを入れたチャンネルのみライブ映像が表示され、表示しないチャンネルは、チャンネル名の横に🔒が表示されます。



3.2. 時間設定

ライブ画面の右上に表示している時刻を設定します。

『時間』(①)をクリックし、表示したリストの『日時時刻』(②)をクリックして下さい。



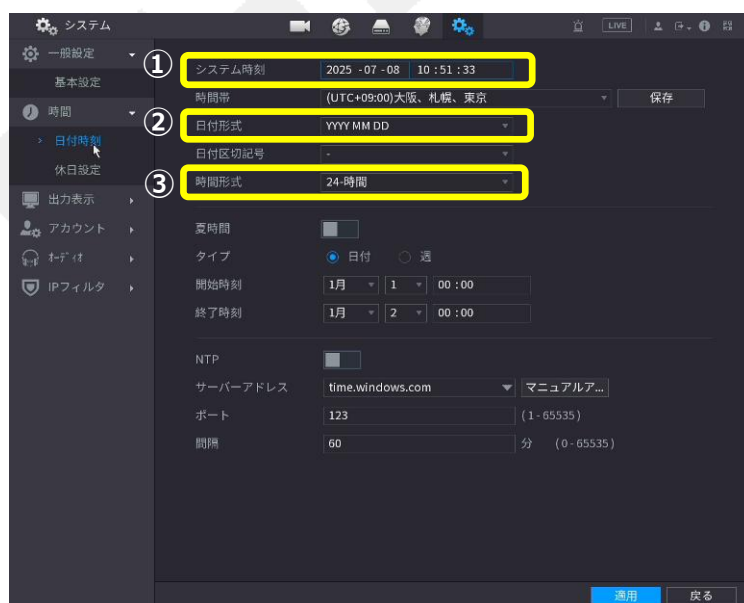
※システムのアイコンの内にある『時間』をクリックし、時間設定画面を表示することも可能です。



3.2.1. 日付時刻

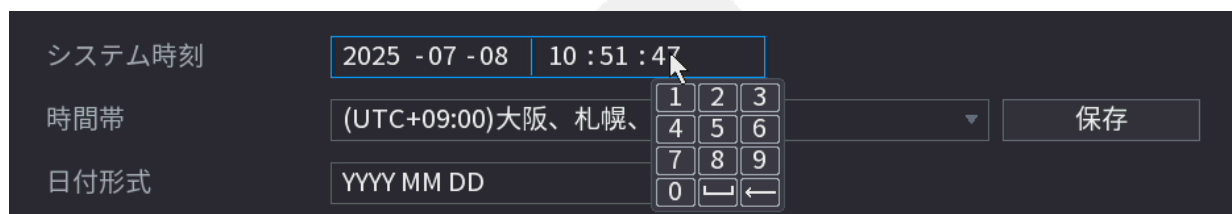
ここでは、システム時刻設定について簡単に説明します。

1) 時刻の設定をします。



① システム時刻

ソフトウェアキーボードの数字キーをクリックして、システム時刻を設定します。



※年を設定する場合は年、分を設定する場合は分が表示されている部分をクリックして下さい。

※時間は 00～23、分は 00～59、秒は 00～59 が入力可能です。これを超える数字を入力すると、時間は 23、分は 59、秒は 59 が表示されます。

② 日付形式

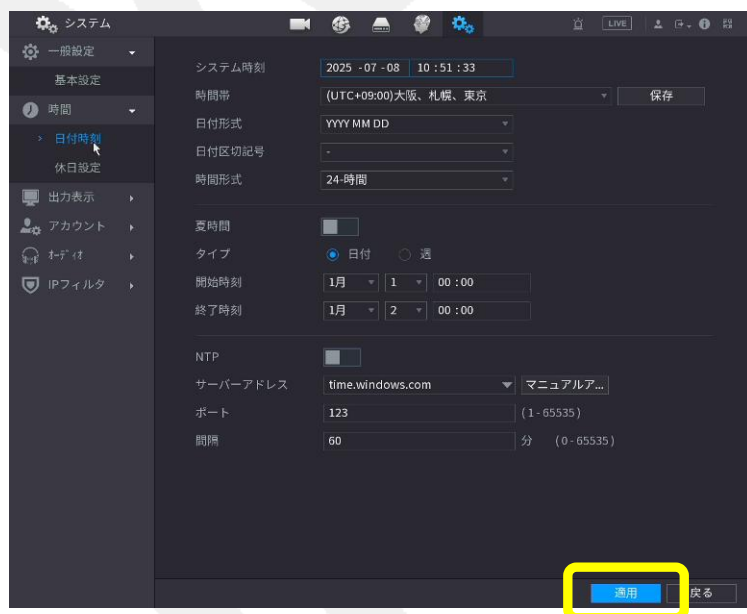
「YYYY-MM-DD」、「MM-DD-YYYY」、「DD-MM-YYYY」から選択して下さい。

Y は年、M は月、D は日を表します。

③ 時間形式

24 時間モード、12 時間モードから選択して下さい。

2) 設定が終了したら、『適用』をクリックして下さい。



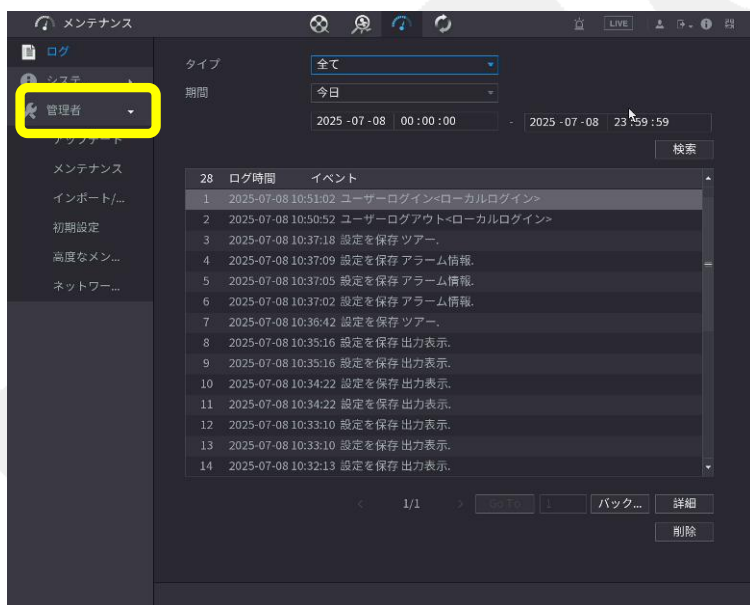
4. メンテナンス

本章では『管理者』の項目の『メンテナンス』、『インポート/エクスポート』について設定を記載します。
メインメニューの『メンテナンス』をクリックし、メンテナンス画面を表示させます。

- 1) メインメニューの『メンテナンス』をクリックして下さい。



- 2) 左のリストから、『管理者』をクリックし、管理者のリストを表示させます。

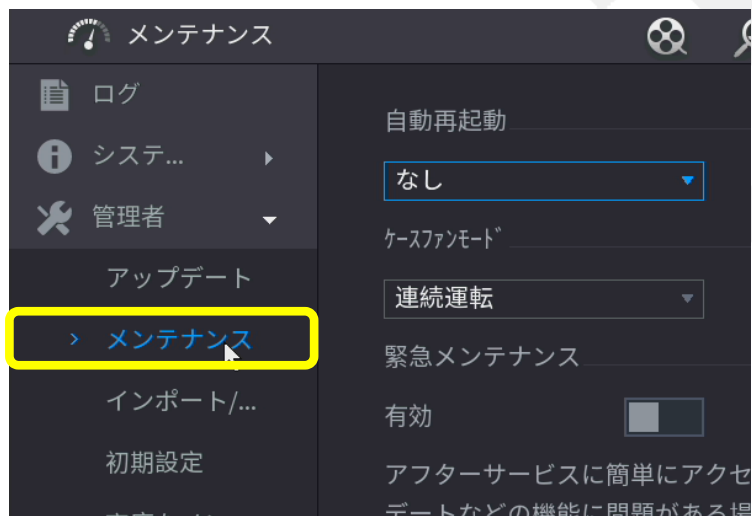


※メンテナンスのアイコンの内にある『管理者』をクリックし、管理者設定画面を表示することも可能です。



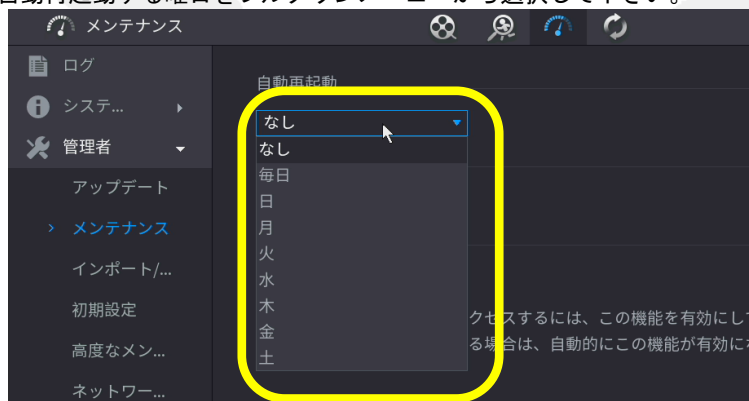
4.1. メンテナンス

左の管理者リストから『メンテナンス』をクリックして下さい。
※メンテナンスでは、自動再起動の時刻の設定について記載します。

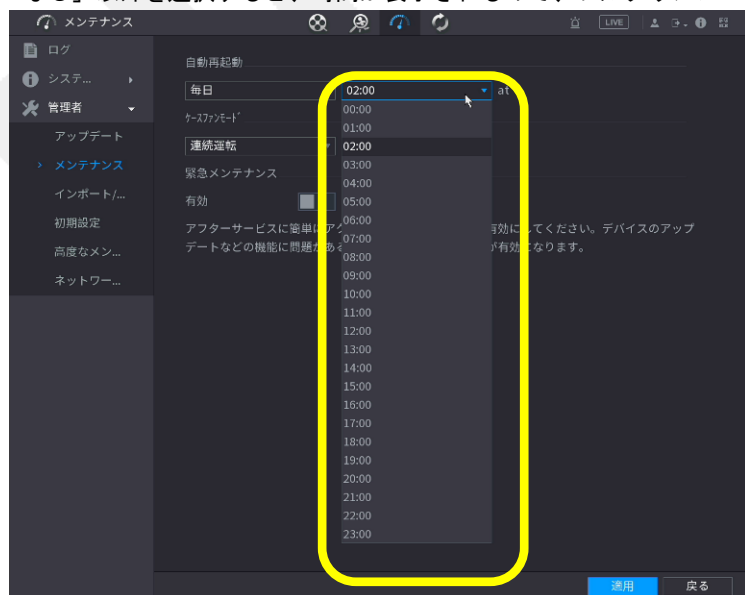


4.1.1. 自動再起動

- 1) 自動再起動する曜日をプルダウンメニューから選択して下さい。



- 2) 「なし」以外を選択すると、時間が表示されるので、プルダウンメニューから再起動の時間を選択して下さい。



※設定した時刻になるとレコーダーが再起動しますが、レコーダーが再起動を行っている数分間は映像記録が停止します。

4.2. 設定バックアップ

この機能は、システム設定のバックアップを行い同じ設定を必要とする他の同一型番のレコーダーにインポートすることが可能です。また、システムをデフォルトに戻した際も、容易に設定を復元することが可能です。

※以下は、設定バックアップで復元しません。

- ・アカウント（ユーザー/グループ/ONVIF ユーザー/パスワード）
- ・ストレージ（チャンネル）
- ・リモートデバイス（カメラ設定）
- ・イベント
 - インテル設定（スマートプラン/AI 境界検知の有効設定とルール設定）
 - イベント（動体検知の有効設定とルール設定）

- 1) バックアップ用の USB メモリーをレコーダーの USB 端子に挿入して下さい。
USB メモリーを認識すると、下記画面が表示されるので、右クリックで「USB デバイス」の画面を消去して下さい。

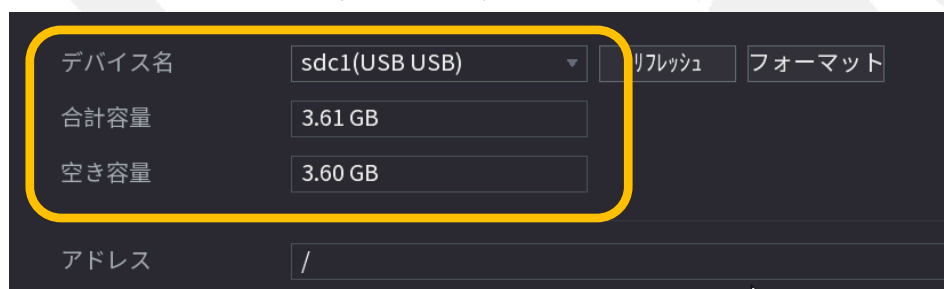


- 2) 左の管理者リストから『インポート/エクスポート』をクリックして下さい。



4.2.1. 設定情報のエクスポート

- 1) バックアップ用 USB メモリーの容量データが表示されているか確認して下さい。

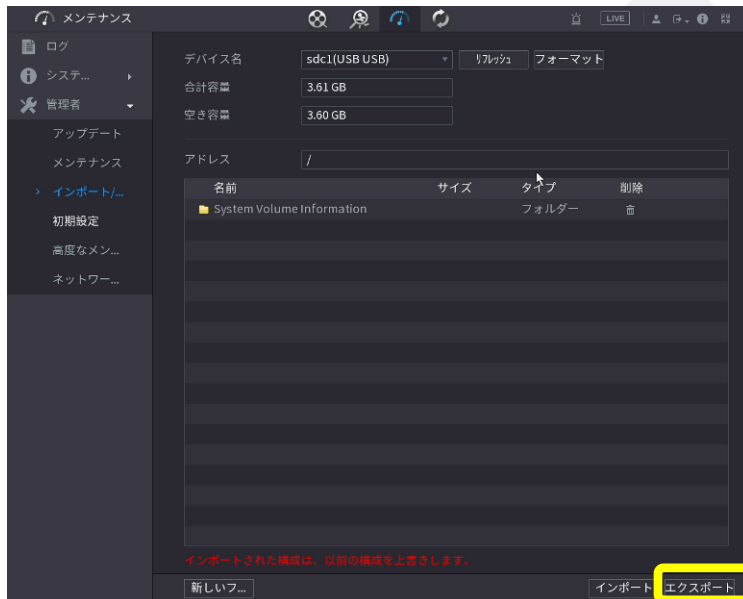


＜「デバイス名」や「合計容量」に値が表示されていない場合＞

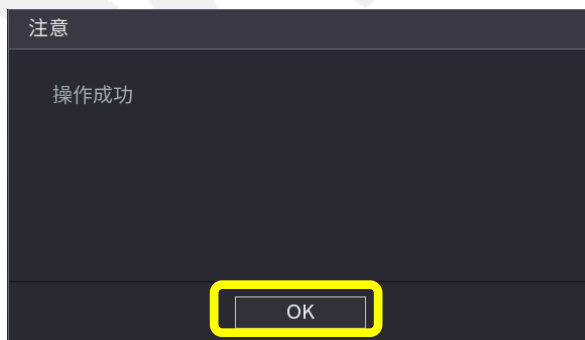
※USB メモリーの容量が大きいと、表示までに時間がかかる場合があります。

- ① 『リフレッシュ』をクリックして、表示するか確認して下さい。
- ② 他の USB メモリーを挿入し、表示するか確認して下さい。

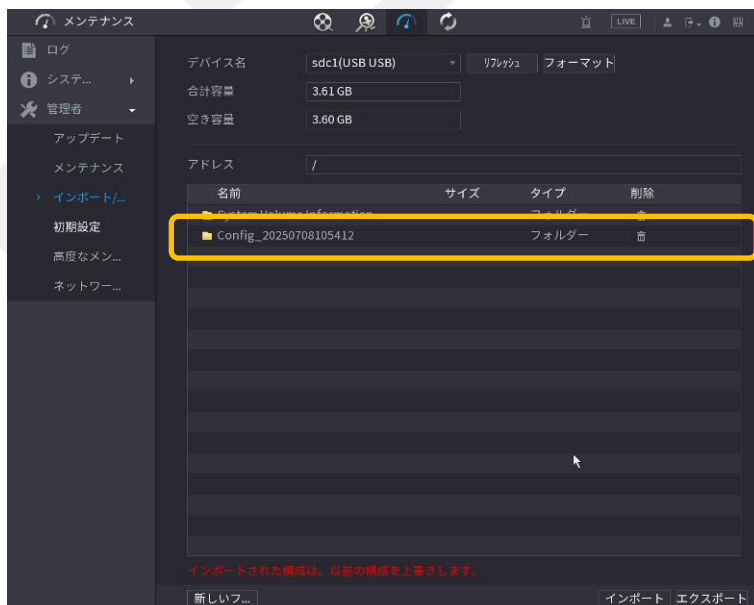
- 2) 画面右下の『エクスポート』をクリックして下さい。



- 3) “操作成功”のメッセージが表示されるので、『OK』をクリックして下さい。

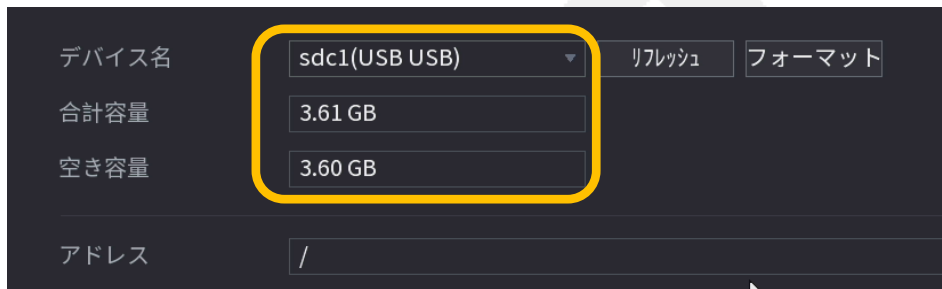


- 4) USB メモリーにエクスポートしたフォルダがメモリー内一覧に表示されます。



4.2.2. 設定情報のインポート

- 1) バックアップ用 USB メモリーの容量データが表示されているか確認して下さい。



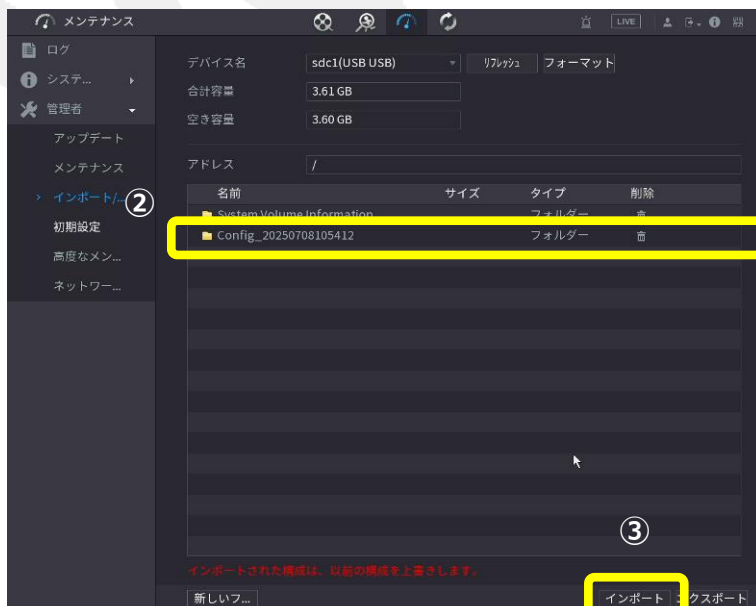
デバイス名	sdc1(USB USB)	リフレッシュ	フォーマット
合計容量	3.61 GB		
空き容量	3.60 GB		
アドレス	/		

＜「デバイス名」や「合計容量」に値が表示されていない場合＞

※USB メモリーの容量が大きいと、表示までに時間がかかる場合があります。

- ① 『リフレッシュ』をクリックして、表示するか確認して下さい。
- ② 他の USB メモリーを挿入し、表示するか確認して下さい。

- 2) メモリー内一覧の中から、インポートするバックアップファイルをクリックして選択 (②) し、選択が終了したら、画面右下の『インポート』(③) をクリックして下さい。

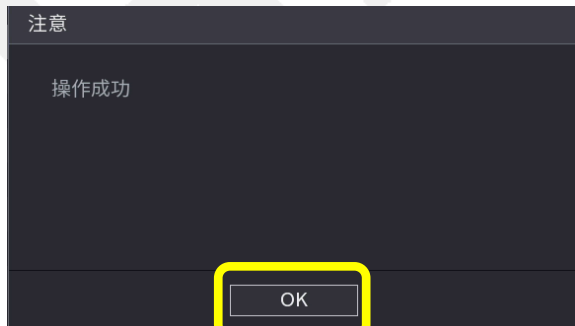


名前	サイズ	タイプ	削除
System Volume Information		フォルダー	✖
Config_20250708105412		フォルダー	✖

インポートされた構成は、以前の構成を上書きします。

新しいフ... インポート エクスポート

- 3) インポートに成功すると、“操作成功”のメッセージが表示されるので、『OK』をクリックして下さい。

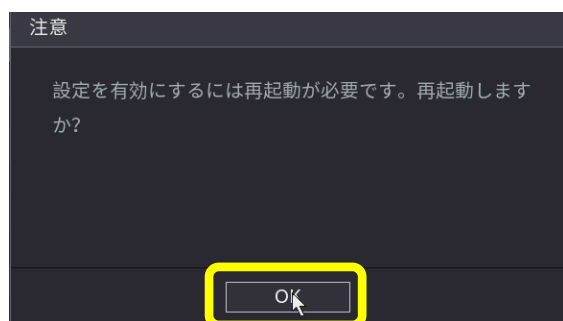


注意

操作成功

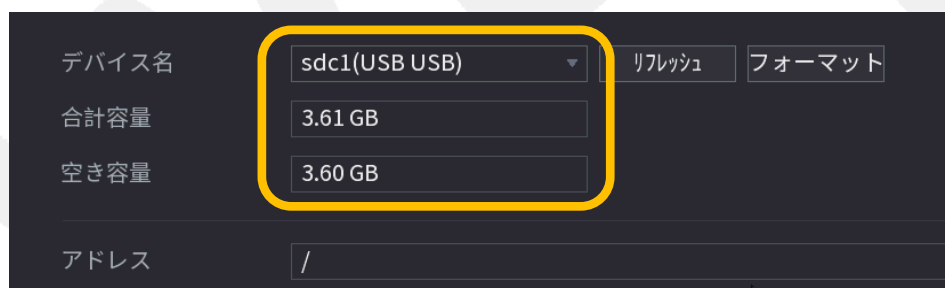
OK

- 4) インポートが終了すると、レコーダーの再起動のメッセージが表示されるので、『OK』をクリックして、レコーダーの再起動を行います。



4.3. USB メモリーのフォーマット

- 1) USB メモリーの容量データが表示されているか確認して下さい。

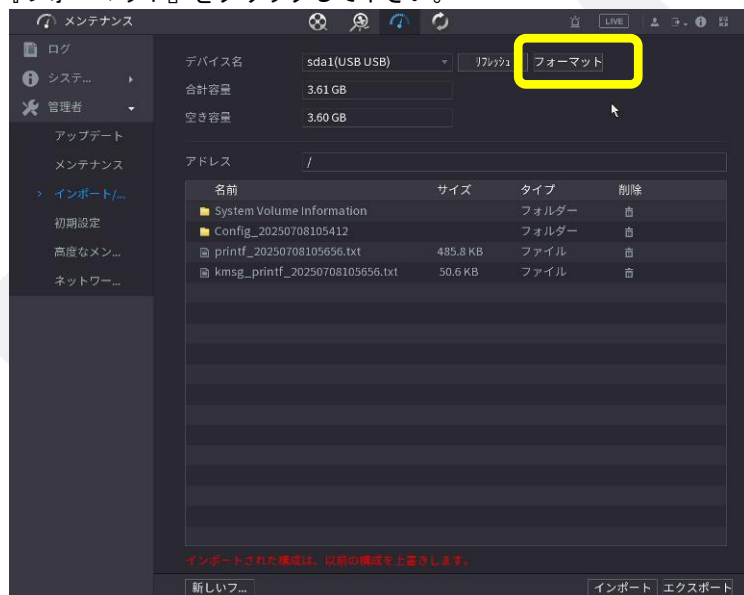


＜「デバイス名」や「合計容量」に値が表示されていない場合＞

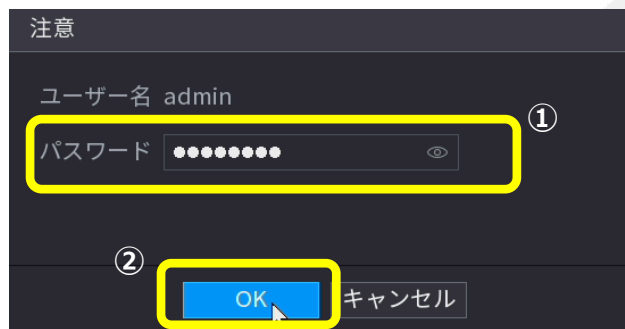
※USB メモリーの容量が大きいと、表示までに時間がかかる場合があります。

- ① 『リフレッシュ』をクリックして、表示するか確認して下さい。
- ② 他の USB メモリーを挿入し、表示するか確認して下さい。

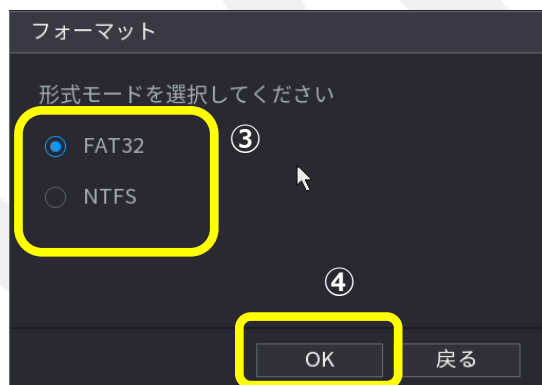
- 2) 『フォーマット』をクリックして下さい。



- 3) パスワード入力画面が表示されるので、ユーザー名に表示しているユーザーのパスワードを入力①し、『OK』②をクリックして下さい。

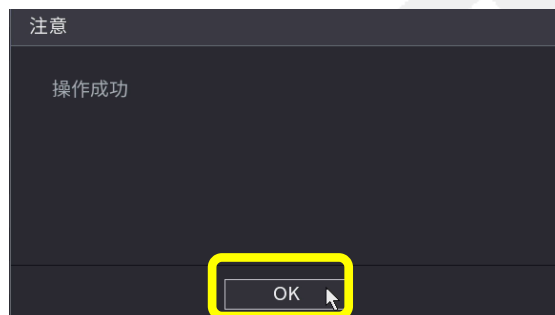


- 4) フォーマットの形式③を選択し、『OK』④をクリックするとフォーマットが開始されます。

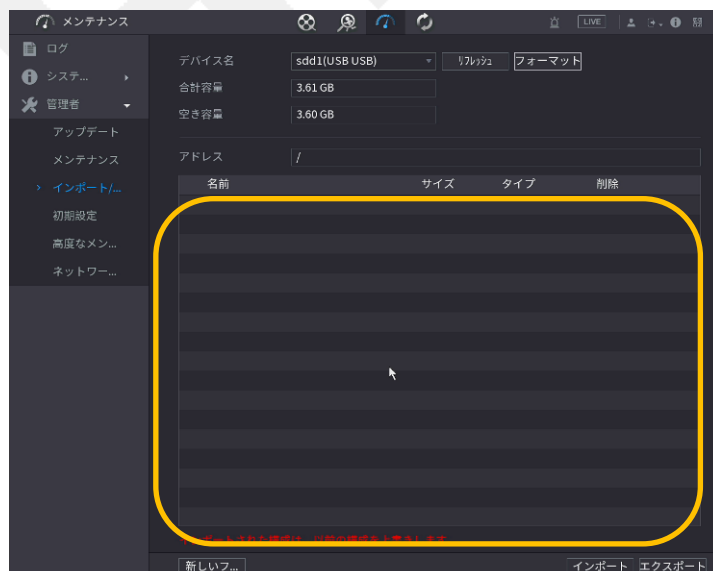


※ NTFS は一部のレコーダーに対応していませんので、ご注意ください。

- 5) フォーマットが終了すると、以下のメッセージが表示されるので、『OK』をクリックして下さい。



- 6) メッセージが消去されると、USB メモリー内のデータが消去されます。



5. Firmware アップグレード

レコーダーのファームウェアのアップグレードを行います。

アップグレードを実行する前に、PC などでファームウェアを USB メモリーに格納します。

※ ファームウェアは、必ず購入先に問い合わせた弊社指定の物を使用して下さい。

※ ファームウェアのアップグレード後はそのまま使用できますが、工場初期出荷状態（初期化状態）に戻すことを推奨します。工場出荷状態に戻す際は、事前にレコーダーの設定している設定値を控えてから実行して下さい。

- 1) バックアップ用の USB メモリーをレコーダーの USB ポートに挿入して下さい。

USB メモリーを認識すると、下記画面が表示されるので、右クリックで「USB デバイス」の画面を消去して下さい。



- 2) メインメニューの『メンテナンス』をクリックして下さい。



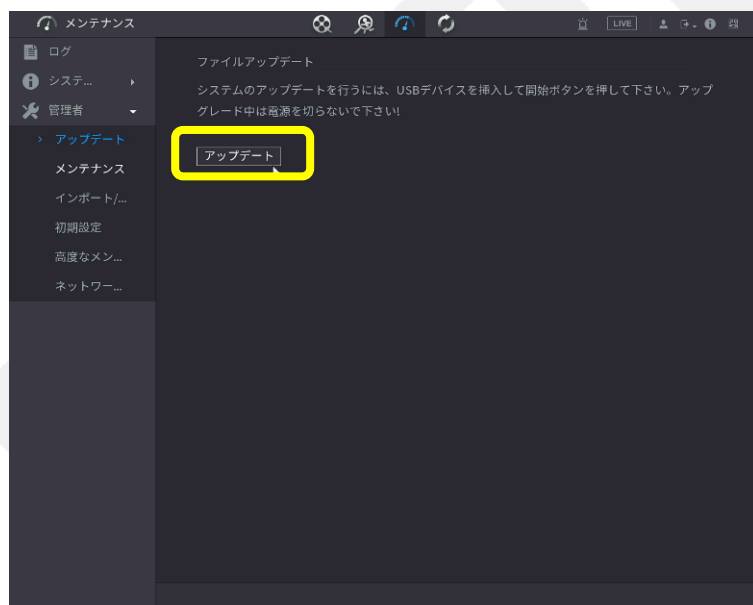
- 3) 左のリストから、『管理者』(①)をクリックし、表示したリストから『アップデート』(②)をクリックして下さい。



※メンテナンスのアイコンの内にある『管理者』をクリックし、管理者設定画面を表示することも可能です。



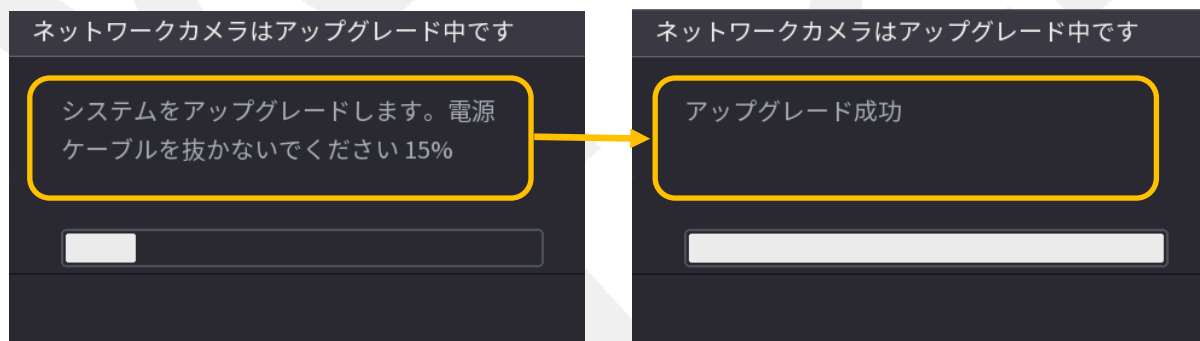
- 4) アップデート画面が表示されるので、『アップデート』をクリックして下さい。



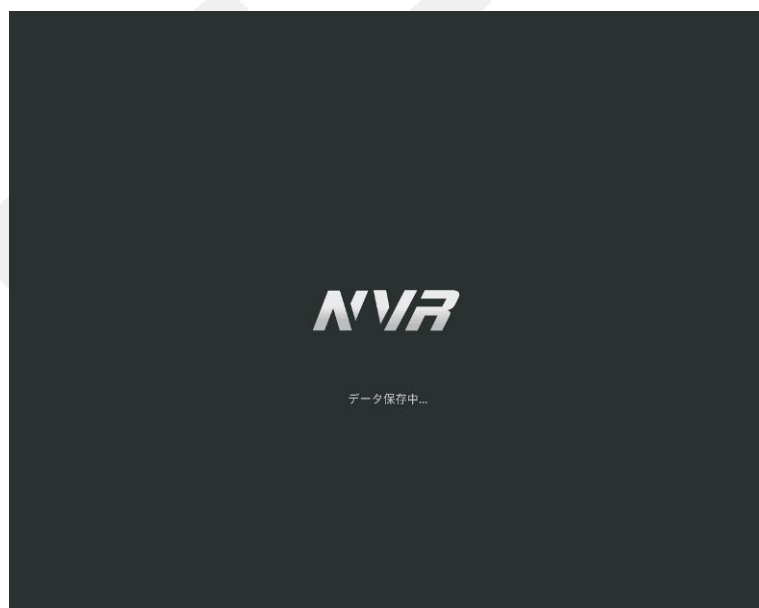
- 5) USB メモリーの内容が表示されるので、アップグレードするファームウェアのファイル (①) をクリックし、選択したファームウェアのファイルが正しい事を確認 (②) し、『OK』 (③) をクリックして下さい。



- 6) 進捗の画面が表示され、“アップグレード成功”が表示すればアップグレードは終了です。



- 7) 終了すると自動的にレコーダーは再起動します。



6. 工場初期出荷設定

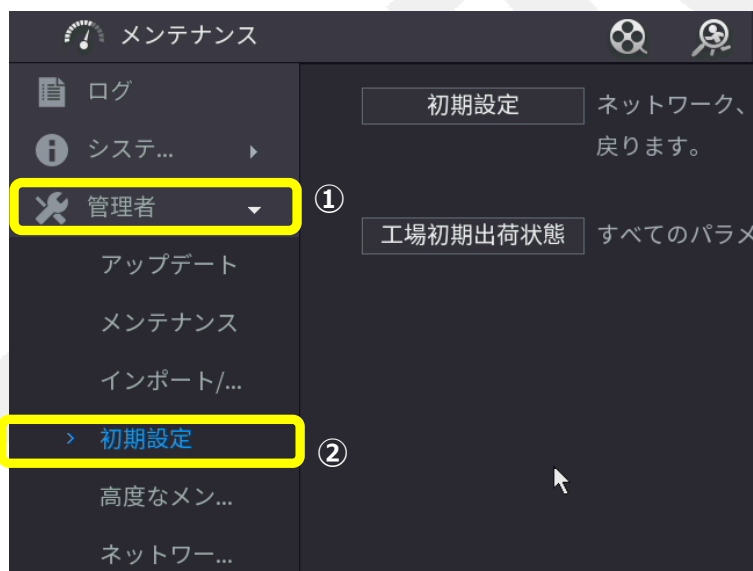
レコーダーを出荷の状態に戻します。

6.1. レコーダーにログインして初期化

- 1) メインメニューの『メンテナンス』をクリックして下さい。



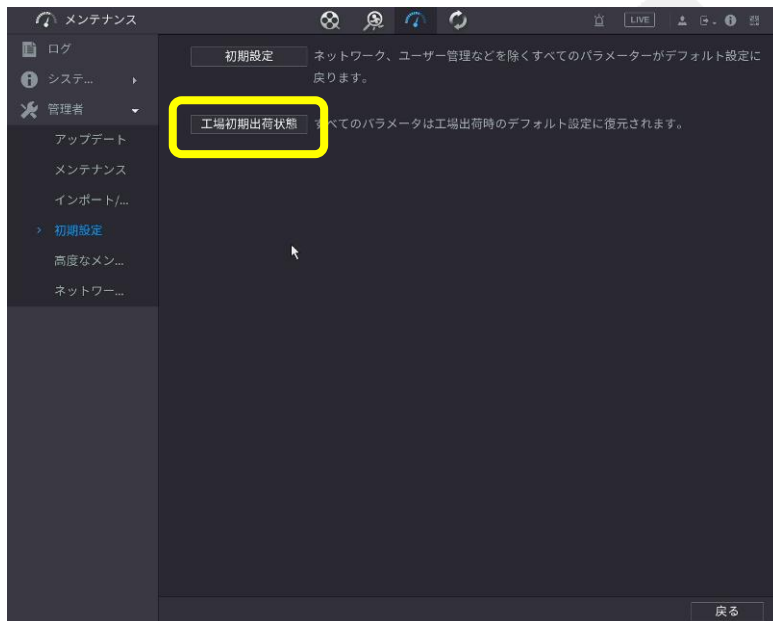
- 2) 左のリストから、『管理者』(①)をクリックし、表示したリストから『初期設定』(②)をクリックして下さい。



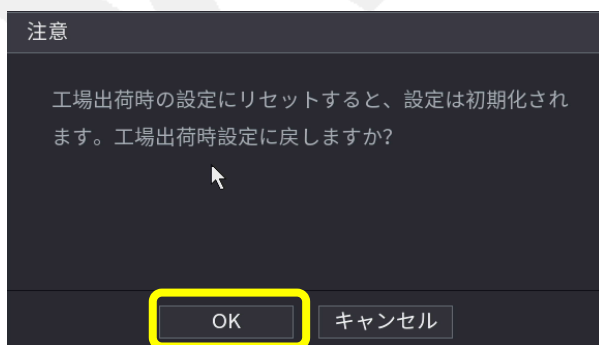
※メンテナンスのアイコンの内にある『管理者』をクリックし、管理者設定画面を表示することも可能です。



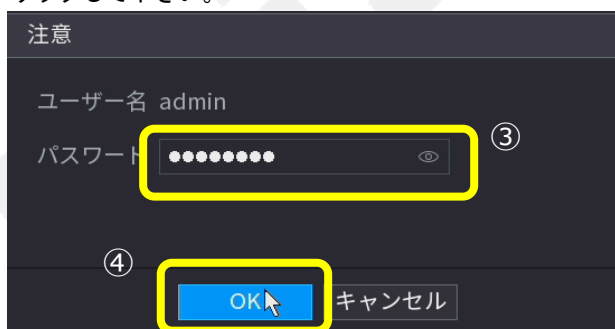
- 3) 『工場初期出荷状態』をクリックして下さい。



- 4) 再起動の確認メッセージが表示されるので、『OK』をクリックして下さい。



- 5) パスワード入力画面が表示されるので、ユーザー名に表示しているユーザーのパスワードを入力③し、『OK』④をクリックして下さい。



- 6) 再起動後は初回起動設定画面が表示されるので、「NVR 用 操作手順書①（初回起動設定_ログイン・ログアウトの基本操作）」を参照し、設定を行って下さい。

6.2. レコーダーのパスワードを忘れた場合

- 1) レコーダーの背面の電源スイッチが OFF になっていることを確認します。



< レコーダーが起動している場合 >

- ・レコーダーにログインしている場合
「NVR 用 操作手順書①（初回起動設定_ログイン・ログアウトの基本操作）」の手順書に従って、レコーダーをシャットダウンして下さい。シャットダウン後は、レコーダーの背面にある電源スイッチを OFF にして下さい。
- ・レコーダーにログインしていない状態
レコーダーの背面にある電源スイッチを OFF し、強制的にレコーダーをシャットダウンして下さい。

※管理者のパスワードが分かる場合は、レコーダーにログインし、シャットダウンすることをお勧めします。

- 2) レコーダーのカバーを外すため、背面の 4 か所のネジを外します。

※ネジやカバーが取り外し難い場合は、挿入している電源アダプターやケーブルを抜いて、作業しやすい場所に移動させて下さい。



<注意>

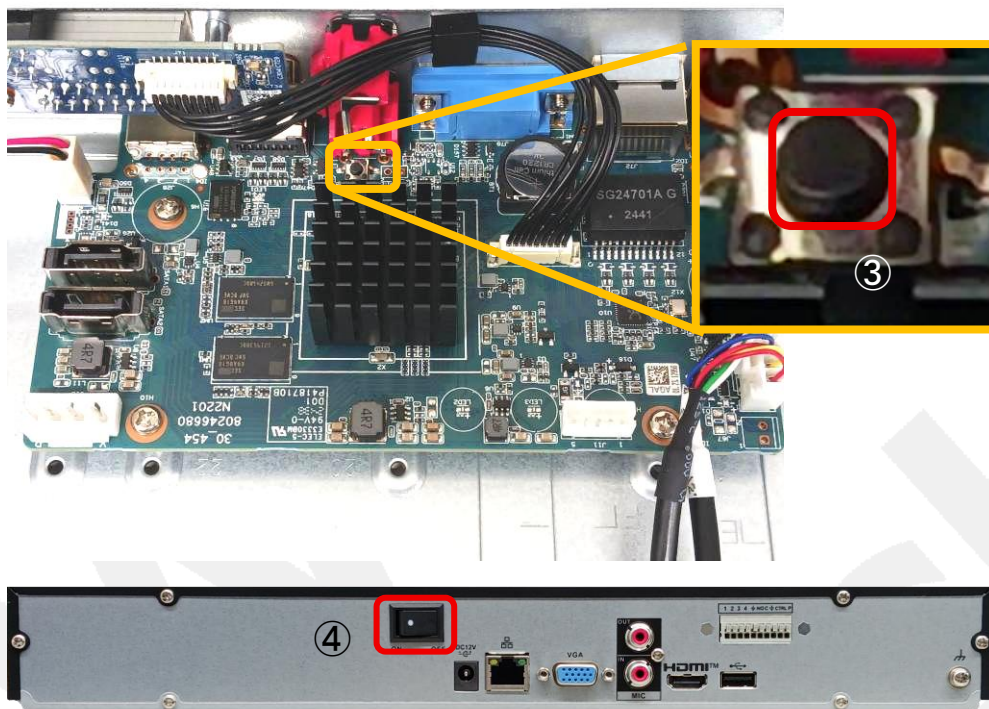
カバーのネジはとても小さいので、無くさないために入れ物や袋に入れて保管することをお勧めします。

- 3) カバーを後方にスライドし (①)、両端を持ちカバーを上を持ち上げ (②) カバーを外します。



※電源アダプターやケーブルを抜いてカバーを外す作業を行った場合は、ここで電源アダプターやケーブルを挿入し、レコーダーが動作し操作できる状態にして下さい。カバーは外した状態にして下さい。

- 4) 基盤にリセットスイッチ (③) があるので、押しながら背面の電源スイッチ (④) を ON にします。



- 5) レコーダーに電源が入り、10 秒ほどするとレコーダーから“ピー”と音が鳴るので基盤のスイッチを押すのを止めて下さい。レコーダーが再起動します。
- 6) 再起動後は初回起動設定画面が表示されるので、「NVR 用 操作手順書① (初回起動設定_ログイン・ログアウトの基本操作)」を参照し、設定を行って下さい。
- 7) 初期設定終了後、カバーを取り付けて下さい。

※カバーを取り付ける場合は、一度レコーダーをシャットダウンし、レコーダーの背面の電源を OFF にしてから取り付けることをお勧めします。

以上